

平成25年7月

一般財団法人石油エネルギー技術センター

第6回日中韓石油技術会議の一般参加について（ご案内）

日中韓石油技術会議は、当センター、中国石油学会及び韓国石油管理院の三者共催で、日本、中国、韓国3カ国の石油産業関係者が最新の石油関連技術を発表して相互理解を深めるとともに各国の技術の向上を図ることを目的としています。2007年12月に第1回会議を東京で開催して以降、毎年各国の持ち回りで開催し、今年は韓国・麗水（ヨス）で第6回会議を下記のとおり開催いたします。当センターではこの会議に講師を派遣いたしますが、この度、関係企業・団体の聴講者を募集いたしますのでご案内させていただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

記

- (1) 開催日時：平成25年9月4日（水）、5日（木） 基調講演・技術講演会
9月6日（金） 石油会社製油所視察
日本出発：9月3日（火）、帰着：9月6日（金）
- (2) 主催：石油エネルギー技術センター（JPEC）、中国石油学会（CPS）、
韓国石油管理院（K-Petro） 共催
開催担当国：韓国
- (3) 開催場所：韓国・麗水（ヨス）、オーシャンリゾートホテル
- (4) 技術講演の主要テーマ
 - ①石油精製技術・触媒技術
 - ②省エネルギー技術
 - ③燃料品質・バイオ燃料技術
 - ④製油所環境保全対策
- (5) プログラム概要（暫定）
 - 第1日目 9月4日（水）
 - 10：00-10：30 各国代表開会挨拶
 - 10：30-12：10 基調講演（各国石油産業・政策動向等）
 - 13：30～17：00 技術講演（石油精製技術関連講演）
 - 第2日目 9月5日（木）
 - 9：30-12：00 技術講演（燃料品質・バイオ燃料技術関連）
 - 13：30-17：00 技術講演（製油所環境保全対策関連講演）
 - 第3日目 9月6日（金）
 - 9：00-12：00 GS カルテックス製油所視察
 - 午後：帰国

(6) 日本側講演

分野	講演題目
石油産業・政策動向	災害時の石油安定供給に向けた石油産業の取組み
燃料品質	軽油の酸化安定性に及ぼす組成物の影響に関する検討
燃料品質	JATOP 事業の概要 - 将来の自動車用ディーゼル燃料に関する研究 -
精製技術	プロピレン増産型高過酷度流動接触分解プロセス
触媒技術	FCC 触媒によるボトムレスへの取組み
触媒技術	最新の直脱技術の紹介
プロセス	マイクロチャンネル反応技術による中小型 GTL の実現

(中国・韓国側講演を含めた詳細プログラムは後日発表いたします。)

(7) 費用負担

渡航の準備・費用、航空券の手配・費用及び現地滞在費等は参加者のご負担とさせていただきます。なお、現地のホテル宿泊予約はご希望により代行させていただきます。日中韓石油技術会議参加費は無料です。

(8) お申込み方法

別添の申込み用紙を電子メールにて、7月31日（水）までにお申込みください。

なお、本会議の趣旨に則り参加をお断りさせていただく場合もありますのでご了承ください。

《電子メール宛先》 ka-okumura@pecj.or.jp

(担当者) 調査情報部 奥村、大沼 (TEL: 03-5402-8502)

以上

一般財団法人石油エネルギー技術センター
第6回日中韓石油技術会議参加申込書

【開催日時】 平成25年9月4日（水）～6日（金）

【開催場所】：韓国・麗水（ヨス）、オーシャンリゾートホテル

《参加申込み》 （7月31日（水）までをお願いします。）

会社名				
会社住所				
所属・職位				
お名前				
連絡先	(電話)			
	(メール)			
会議参加希望 (希望：○)		9月4日	9月5日	9月6日
	午前			
	午後			—
ホテル宿泊予約希望 (希望：○)	9月3日	9月4日	9月5日	9月6日

(ご注意)

(1) 航空便の予約は参加者ご自身でお願いいたします。

(2) ホテル宿泊予約は、開催国（韓国）事務局に依頼しますので当センターが派遣する講師と同一のホテルになります。なお、参加者のご都合によるキャンセル等によりキャンセル料が発生した場合にはご負担をお願いいたします。

《メール宛先》 ka-okumura@pec.j.or.jp

(担当者) 調査情報部 奥村、大沼 (TEL: 03-5402-8502)